



山梨県立甲府工業高等学校

# 東京同窓会の紹介



平成 25 年度版

甲府工業高等学校

東京同窓会事務局

<http://kofu-th-tokyo.org/>

同窓会の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。平素は同窓会活動に格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。東京同窓会は昭和6年(1931)5月30日に第1回東京支部(当時は関東支部)設立総会が開催された伝統ある同窓会です。さて、最近の東京同窓会の年間最大のイベントである定期総会参加者の減少に幹事一同頭を痛めております。その要因として同窓会に最も関心をもたれる年代の高齢化や母校卒業生の進路選択の変化、大学専門学校等上級学校進学率アップ・就職希望卒業生の県外・首都圏への就職先激減等があります。このような環境のなかでも幹事一同、より多くの会員各位に定期総会参加戴きたいとの思いに努力を重ねており、今回、東京同窓会をご理解賜るための紹介パンフレットを作成致しました。限られた紙面ではありますが、東京同窓会ホームページ(<http://kofu-th-tokyo.org/>)と併せてご覧戴ければ幸いです。引き続き同窓会により高い関心とご理解・ご協力を賜わりたくお願い申し上げます。

東京同窓会の主な歩み

昭和6年(1939)5月30日：第1回東京支部(当時は関東支部)設立総会。支部長田中誠喜。昭和50年(1975)6月28日：この総会において、「山梨県立甲府工業高等学校東京同窓会」と改称、山梨県立甲府工業高等学校同窓会本部あて正式に届け出た。会長 菱山義民。

会則(抜粋)

第1条：本会は、山梨県立甲府工業高等学校東京同総会と称す。第4条：本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校ならびに同窓会本部との緊密な連絡のもとに常に母校の発展と地域社会の進展に寄与することを目的にする。第6条：本会会員は、原則として首都圏に在任及び勤務する者。

役員

通常案件は会長以下3役と常任幹事で処理がされ、定期総会・懇親会は顧問・相談役・名誉会長・幹事各位にもご協力を頂いています。役員は事務局も含め専任者は無く、各自、忙しい中ボランティアで活動しています。現在、東京同窓会会員は推定2,400名余であることから同窓会運営活性化のための役員増員を是非進めたいと考えています。同窓会発展のために少しでもお手伝いできる方は事務局へ一報戴ければ幸いです。

平成25年度 東京同窓会役員名簿			役職	氏名	卒年度
顧問	乙黒勝二	C30	常任幹事	五味恵	C33
顧問	千野英雄	M32		坂野公彦	A35
相談役	保坂清治	M25		長田君雄	T38
相談役	数野均	M40		高橋恵子	T38
相談役	津久井督六	C29		深澤榮造	C38
名誉会長	斉藤与	E47		堀内幸夫	T40
会長	小林務	E33		上野周雄	T41
副会長	清水美知雄	E31		河西能典	T43
副会長	羽中田尚幸	C37		渡辺始	A53
副会長兼事務局長	志田保夫	T38		橘田盛廣	E59
副会長	雨宮二六	C32		幹事	秋山正仁
副会長	中澤富治	M34	島田武史		E36
監事	塚田照男	E33	弓削みよ子		T37
常任幹事	佐野孝喜	M30	林義定		C40
常任幹事	伊藤元治	M32	今津泰		C40
			久保嶋淳		A49

## 活動推進体制

今年度の活動推進体制は部会制度を導入し、幹事一人一人が従来にもました役割を演じ、会長をバックアップし、会の運営に協力する事としました。会員各位に於かれましては倍日の御支援・ご協力をお願い致します。

活動推進体制			
総括責任者	部会名	責任者	サブ
小林 務	事務局	志田保夫	塚田照男
	総会部会	羽中田尚幸	志田保夫
	IT部会	上野周雄	塚田照男
	賛助協賛部会	羽中田尚幸	河西能典
	会員部会	雨宮二六	河西能典
	総会誌部会	塚田照男	志田保夫
	五葉会	五味 恵	深澤榮造

## 事務局

事務局は東京同窓会全般の運営管理を行っています。今年度の事務局の課題は、新たに活動推進体制下に導入された部会制度の立ち上げがあります。役員各位は多忙の中でのボランティア活動のため、特に、新しい企画・会員増強活動・賛助広告会員訪問等は部会メンバーと一緒に活動を行っています。東京同窓会長は本部同窓会副会長兼務の為もあり、同窓会総括の任務に加え、本部・支部開催イベント・母校部活動応援・山梨県人会等は会長中心に活動しています。

## 定期総会・懇親会（担当:総会部会）

平成 25 年度総会・懇親会は 6 月 23 日（日）、明治記念館で開催し、会員 82 名・来賓 33 名の出席を戴き、成功裏に終了することが出来ました。此れも一重に会員各位のお陰と感謝申し上げます。次回平成 26 年度総会・懇親会は平成 26 年 7 月 6 日（日）明治記念館での開催を予定し、会員各位が参加して良かったと思える様に、更に充実した企画を鋭意努力し検討中です。参加会員の拡大、ショータイムでの新企画、カラオケコーナーの再考、お楽しみ抽選会のスピーディな進行等を具体化します。何卒、会員の皆様方の総会へのご出席及ご協力をお願い申し上げます。

## HP（担当:IT部会）

2011 年 6 月 5 日にホームページ（HP）を開設しました。少しずつですが情報を充実させ、定期総会・懇親会情報に加え、事務局始め各部会報告の掲載も開始しました。会員の皆さんのお役に立つ情報をできる限り掲載したいと考えておりますので、皆様の忌憚のないご意見を拝聴したいと思っています。ホームページTOPのお問合わせ <http://kofu-th-tokyo.org/question.htm> よりお願いいたします。

## メールマガジン（担当:IT部会）

2013 年 10 月、この度東京同窓会員各位へのお知らせを目的に、従来のホームページによる情報提供に加えメールマガジンを創刊致しました。メールマガジンでは東京同窓会からのお知らせ、イベント情報、母校の情報等を出来る限りタイムリーにお届けする予定です。発刊にあたりましては勝手ながら、メールアドレスを同窓会総会出欠表などで頂いた方々や同窓会役員の方々などを送信先として登録させて頂きました。多くの会員から配信希望登録が頂けるよう継続的発行に努力する所存です。メールマガジン新規配信希望及び配信停止をご希望の方は下記メールアドレスへ、その旨（配信希望又は配信停止、氏名、卒業年度、科名、〒住所、電話番号）ご連絡をお願い致します。 [ttsukada@t-net.ne.jp](mailto:ttsukada@t-net.ne.jp) \*メール送信時は“(at)”を“@”に書き換えてください。

## 賛助広告・個人協賛(担当:賛助協賛部会)

事務局はH24年度の総会以降、会員増強・活動充実・財務強化に付き様々な角度で検討し、H25年度総会に合わせ賛助広告会員の拡大と個人協賛会員新設を決定し会員を募集したところ、多数の皆様よりご厚志を戴き、厚く御礼を申し上げます。平成26年度についても募集をさせて戴く予定で、詳細は26年度総会・懇親会のご案内でお知らせを致します。ご協力戴いた賛助広告会員及び個人協賛会員の広告、お名前等は総会誌に掲載し謝辞を表す事とします。何卒趣旨をご理解いただき、ご協力の程お願い申し上げます。

## 会員増強(担当:会員部会)

同窓会活動は、年度の最大イベントである定期総会・懇親会の開催に加え、総会誌・HP・メルマガ・ゴルフ大会等で会員の絆を結び付ける事も大事と考えています。その為にも、これらに多くの会員が参加出来るよう会員部会一丸となり努力する所存です。今年度の新規活動計画には、会員DBの総点検及び会員が所属している同級会(クラス会)とリンクし、団塊世代前後を中心に総会参加・総会誌投稿等の呼びかけを行います。又、H25年度総会・懇親会出欠回答の中で凡そ20%の会員よりメールアドレスの登録があり、その中の多くの会員よりメールの活用に期待がありました。会員部会としては会員への情報交換ツールとしてHP・メルマガ活用を考えています。会員各位におかれましては、会員増強に対しご指導・ご協力をお願い申し上げます。

## 総会誌発行(担当:総会誌部会)

平成25年度総会誌は旧来の総会誌を一新し、その一つとして「我が思い出を綴る」投稿コーナーを新設し会員各位へお願いしたところ、21件と予想を上回る充実した応募を戴きました。本当に有難うございました。お陰さまで、投稿コーナーが総会誌の中軸の様相を呈する事となりました。本総会誌の編集方針は、会員各位へ東京同窓会の活動状況の伝達、会員相互の情報交換の場として皆様のお役に立てるようする事と考えています。この他、総会誌には、新設の個人協賛会員コーナー、従来からの賛助広告会員コーナー等を設け、同窓会活動のご支援・ご協力に対し感謝の気持ちをお伝えしております。平成26年度総会誌については、更に体裁・内容等更に検討し、皆様に喜ばれる総会誌発行を目指します。会員各位に於かれましては、ご多用とは存じますが、奮っての投稿の程お待ち申し上げます。

## ゴルフ同好会(担当:五葉会)

五葉会(東京同窓会ゴルフ同好会)は昭和42年頃の東京同窓会で4、5名の先輩方が出会った時にゴルフでもやろうかと云って始めたのが発端だったようです。当時としてはまだまだ一般の方には手の届かない趣味とゆうかスポーツとゆうかゴルフを始めたのがきっかけでした。その後徐々に輪が広がり、昭和48年より会が結成され、つづいて昭和50年に五葉会の会則が出来まして、現在に至っています。当初は自己申告のハンデキャップ戦で数年おきに実績をもとにハンデキャップの改正をしておりましたが、平成17年会員の総意により当分の間Wペリア方式としております。現在は年3回とし、少しでも多くの会員に参加して戴けるようにしております。五葉会員及び東京同窓会の役員等一同一大決心で会員増を果たすべく努力の結果、若手会員の参加が増えておりまして世代交代の傾向になってきた観はあります。現在は45名ほどであります。会員各位に於かれましては、歴史ある東京同窓会「五葉会」に何卒ご理解を戴き、多くの皆様の参加をお待ちしております。

東京同窓会の紹介編集担当：甲府工業東京同窓会事務局(志田保夫・塚田照男)